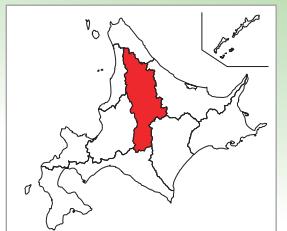


旭川建設管理部

旭川建設管理部の概要

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.



《概要》

旭川建設管理部管内は、南北に長い地理状況を保有していることもあり、山岳や湖沼、温泉といった多様な自然環境・観光資源に恵まれた地域であり、近年繰り返し大規模な豪雨が発生しており、地域に甚大な影響が及んでいます。十勝岳においては、火山性地震の増加など、活動が高まってきています。

こうした頻発化・激甚化する自然災害に備えるために、安全・安心な社会基盤を形成するための取組として、河道掘削や遊水地の整備を進めます。また火山泥流被害の防止・軽減については、砂防堰堤の整備とともに、関係機関との連携による緊急防災体制の充実、さらに地元住民との勉強会による防災意識の向上を図ることで、ハード・ソフト両面から防災対策に取り組んでいます。

また、地域連携・物流効率化・観光促進のための交通ネットワークを形成するための取組として、IC・旭川空港へのアクセス強化を図る高規格道路の整備、都市と農山村を連携する道路、緊急輸送道路の整備、都市内の踏切除却による交通渋滞解消といった事業を推進します。そして近年は、橋梁やトンネルといった重要構造物の老朽化が顕著であることから、補修や長寿命化対策を進め、より持続可能な社会資本整備による効率的な維持管理にも取り組みます。

また、管内の地域社会の発展に向け、将来の建設業に関わる担い手の確保・育成のため、官民連携による「北のけんせつ担い手」育成会議を通じて、建設業の魅力発信、そして若手技術者の継続的確保・育成を目指しています。

鷹栖東神楽線 現道拡幅事業

その先の、道へ。北海道



旭川建設管理部
道路事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

鷹栖東神楽線は鷹栖町と東神楽町を結ぶ延長24kmの路線で、北海道縦貫自動車道(旭川北IC)と北海道横断自動車道(占冠IC)を結ぶ高規格道路(旭川十勝道路)の一部であるとともに、旭川市の環状道路機能を有する幹線道路です。当該事業は、現道2車線を4車線に拡幅し、急カーブ箇所の解消、狭隘な橋梁の解消、両側歩道の設置を整備するものです。

《事業概要》

事業延長	: L=10.1km
事業期間	: 平成25年度～令和9年度（予定）
全体事業費	: 約130億円
事業内容	: 道路改良工、橋梁工

《位置図》



《写真: 新東神楽橋から終点方向》



《写真: 東神楽町から起点方向》



愛別当麻旭川線 踏切除却・道路拡幅事業<永山東光線>

その先の、道へ。北海道

旭川建設管理部
街路事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

本路線は永山南小学校の通学路に指定されていますが、JR石北本線の踏切があることや、幅員狭小な片側歩道のため、児童の車道横断回数が多くなっています。また、日本製紙旭川工場や大規模商業施設の物流ルートとなっており、自動車交通量が多く、児童の安全性・利便性が確保されていない状況です。

このため、単独立体交差化及び自歩道を整備します。

《事業概要》

事業延長	: L=1.1km
事業期間	: 平成27年度～令和10年度（予定）
全体事業費	: 約90億円
事業内容	: 防災・道路拡幅、踏切除去

《整備イメージ図 立体交差部橋梁 側面図》



《位置図》



《写真: 踏切部の現況》



牛朱別川 広域河川改修事業

その先の、道へ。北海道

旭川建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

牛朱別川は石狩川水系石狩川に合流する一級河川です。昭和22年8月の洪水により、家屋浸水など多大な浸水被害が発生しました。近年では平成28年、30年にペーパン川地区で浸水被害が発生しました。

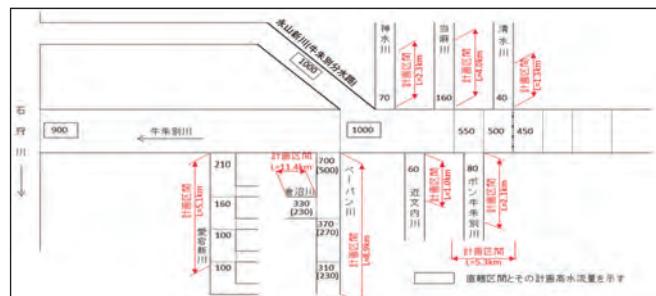
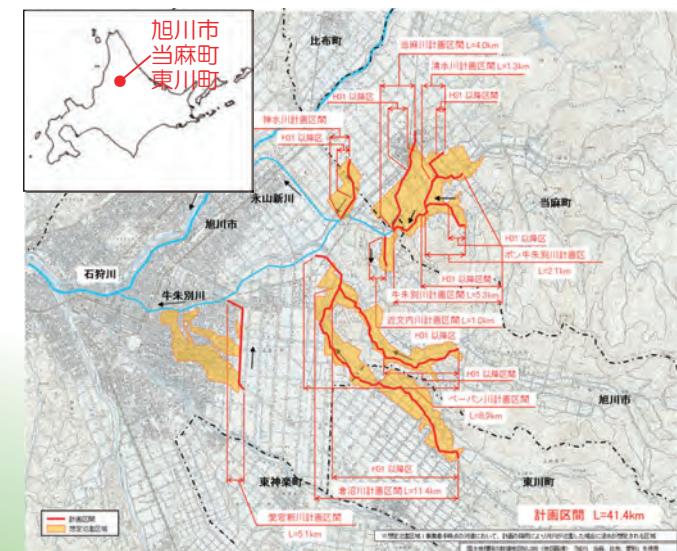
堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、旭川市豊岡地区、当麻町5条東地区、東川町西1～11号北地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止します。

《各河川計画区間 牛朱別川本川、支川愛宕新川、その他7支川》

《事業概要》

事業延長 : L=41.4km
事業期間 : 昭和24年度～令和20年度（予定）
全体事業費 : 約328億円
事業内容 : 掘削工、築堤工、護岸工など

《位置図》



《標準断面図 ペーパン川》



《写真: 平成30年出水》
(ペーパン川地区)



《写真: 過年度施工箇所》
(ペーパン川地区)



富良野川 大規模特定 火山砂防等事業

その先の、道へ。北海道

旭川建設管理部
砂防事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

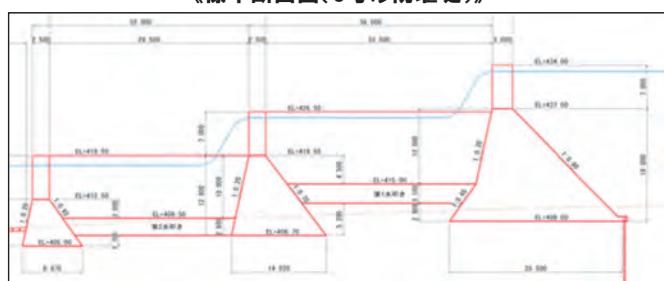
十勝岳では、大正15年5月24日の噴火に伴い大規模な融雪型火山泥流が富良野川を流下し、144名の犠牲者を出す大惨事が発生しました。その後、昭和37年の大噴火、昭和63年～平成元年の小規模噴火では、火山泥流が発生し、住民の避難等、社会経済への影響が甚大となりました。

このため、平成元年度より「富良野川火山砂防事業」を実施しています。令和3年度より砂防堰堤4基の新設を行い、火山泥流の流出防止の拡大、家屋・耕地等への被害軽減を図ります。

《事業概要》

事業延長 : 砂防堰堤N=4基、護岸工L=1.0km
事業期間 : 令和3年度～令和20年度（予定）
全体事業費 : 約189億円
事業内容 : 砂防堰堤、護岸工

《標準断面図(6号砂防堰堤)》



《位置図》



《写真: 3号砂防堰堤》(既設)

《写真: 完成後のイメージ》
(6号砂防堰堤)